

第4回湖南省総合計画審議会 事前意見・質問回答

連番	資料	ページ	意見・質問	回答	
1	(参考資料) 第二期湖南省 人口ビジョン	7	出生率、合計特殊出生率について、県内市町と比較しても落ち込みが大きい。全国的に人口減少が進んでいる中で、湖南エリアでは人口が増加している市町もある。P17、18(2)重要な子育て支援に関する意向をもとに長期的な目標を掲げ、着実に子育て施策をレベルアップしていく必要があると考える。	ご指摘のとおり本市の出生率関連の指標は、全国および県内平均を下回っており、20代から30代の若者の流出が顕著であると分析しています。ご意見のとおり、長期的な視点で総合計画に掲げる施策を着実に実行し、湖南省で子どもを安心して産み育てる環境を実現していきます。また、若い世代が進学や仕事で本市を一旦離れたとしても、将来的には本市で子育てや生涯を過ごしたいと思っただけのように、子どもの時から市に愛着を感じられるようまちづくりの参画を促進することをはじめ、市民のニーズに合わせて施策を充実させることで、活力あるまちを創出していきます。	
2		15	交流人口(観光入込客数)が周辺市町と比較して少ないが、今までの観光施策についてどのように分析しているか。地域資源の活用や効果が大きい施策に取り組む必要があると考える。	観光入込客数については、他市と比較すると少ないことにご意見のとおりですが、平成27年と令和元年の比較では約15万人増加しています。本市には国宝等の歴史や自然、温泉等の施設など様々な観光資源がありますので、来訪者の滞在時間を延ばし、地域にお金が落ちる仕組みづくりと、市内外ともに効果的な情報発信を行うことで観光入込客数の着実な増加を推進します。具体的な施策の方向性については第7章総合戦略で記載しています。	
3		32	湖南省は福祉のまちとして、他の市町と差別化を図るべきである。高齢者、障がい者に対する具体的対策について十分議論すべきと考える。	ご意見のとおり、総合計画で示す福祉施策の方向性のもとに、福祉関係の個別計画で十分議論していきます。	
4		33	取組と政策効果の考え方として、人口減少に歯止めをかけるために「新産業の創出」とあるが、市の関係部局が一体となって取り組んでいくべきであるとする。また、企業や団体等のイニシアチブをとることが重要であり、また、市任せにならない体質の改善方を検討すべきである。	ご意見を参考に取組を進めていきます。	
5		35	政策効果について、2060年の人口の長期見通しが示されているが、今回の令和7年(2025年)度における目標が達成されれば、人口目標も達成されるかと考えてよいか。また、第3回湖南省総合計画審議会においても確認したが、さらに一歩踏み込んでPDCAを総括する権限のある部署を新たに創設すべきと考えるがいかがか。	このたびお示しする後期基本計画につきましては、長期ビジョンを見通したうえでの令和7年度までの5年間についての施策および目標指標ですので、第1段階として人口目標達成に近づいたとして評価できるものとして設定しています。PDCAの総括については、後期基本計画に示しています全ての施策について実施計画を作成し、内部および外部からの視点で多角的に評価を行うとともに、委員の意見も検討しながら、総合調整部局(現在は総合政策部)において施策の統制を図ります。	
6		(参考資料) 後期基本計画 目標指標	3、7	「ここぴあ」の年間売上高の増加を新たに目標設定されたが、しっかりとした施策を講じなければ成長はありえないと考える。施設全体の独自性を生産者と一緒に検討すべきである。	ご意見を参考に取組を進めていきます。
7			5、9	湖南省ボランティアセンターのボランティア登録者数について、近年減少傾向にあるため、目標値について再考すべきではないか。	湖南省ボランティアセンターと再度協議を行ったところ、近年の登録者数の状況を考慮し、目標値を変更します。また、基準値の考え方について誤りがありましたので併せて次のとおり変更します。 【基準値】730人 【目標値】800人